

## Unit 7 カナダの学校 (5時間)

本単元における小学校英語活動を生かした指導

本単元は、テレビ会議を通して世界の時差やカナダの学校生活について知ることがねらいである。実際にテレビ会議を行うことは難しいので、小学校英語活動のごっこ遊びを取り入れ、ある人物になりきった ALT の自己紹介の様子を、ビデオに撮影したり、あらかじめ録音したりして、登場させることで生徒が興味・関心を持ちながら、本文の聞き取りや読み取りに取り組めるようにしたい。また、言語材料の Who ~? What time ~? は小学校英語活動で慣れ親しまれている表現であり、言語の働きは理解しやすいと思われるが、Who? や What time? のように単語での理解にとどまっている生徒もいると考えられるので、主語や動詞を含む文の形を音声でたくさん聞くことで、Wh-疑問文の表現の定着を図り、聞く活動から、読んだり書いたりする活動へと発展できるようにしたい。

### 1 目標

- ・ 人について、だれであるのか尋ねたり、それに答えたりすることができる。
- ・ Who~? の文と応答の形・意味・用法を理解し表現できる。
- ・ 世界各地の時差について知る。
- ・ 現在の時刻や天気について尋ねたり、それに答えることができる。
- ・ What time~? の文と応答の形・意味・用法を理解し、表現できる。
- ・ カナダの中学生の学校生活とドリームキャッチャーについて知る。
- ・ 学校生活について尋ねたり、それに答えたりすることができる。

### 2 評価規準

	ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 表現の能力	ウ 理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
聞くこと	(言語活動への取組) カナダの中学校の様子に関心をもっている。 (コミュニケーションの継続) 理解できない時、What?などで、聞き返そうとしている。		(正確な聞き取り) テレビ会議の内容を正しく聞き取ることができる。 (適切な聞き取り) 時刻や天候の質問に適切に応答することができる。	(言語についての知識) Who~?What time~?の文構造を理解している。 (文化についての理解) 時差に関する知識をもっている。
話すこと	(言語活動への取組) ペアワークに積極的に取り組んでいる。 (コミュニケーションの継続) 理解してもらえよう言い換えなどしている。	(正確な発話) 疑問詞 Who~?What time~?を伴った疑問文を使うことができる。 (適切な発話) 聞かれたことに対して正しく応答することができる。		(言語についての知識) 疑問詞のある疑問文のイントネーションの知識を身に付けている。 (文化についての理解) 時刻や天候などを表す主語は it であることを理解している。
読むこと	(言語活動への取組) カナダの中学校など、読んでいる内容に関心をもっている。 (コミュニケーションの継続) 理解できないところがあっても推測して読み続ける。	(正確な音読) What time など語の連結による音変化を用いて音読できる。 (適切な音読) 様々な場面に応じ、適切な音読をすることができる。	(正確な読み取り) ビルやカナダのことについて正しく読み取ることができる。 (適切な読み取り) カナダの中学生について大切な部分を読み取ることができる。	(言語についての知識) 語の連結の音変化や疑問文のイントネーションを身に付けている。 (文化についての理解) 日本とカナダの学校生活の違いに気付いている。
書くこと	(言語活動への取組) 間違っことを恐れず、自分の学校の様子などについて書いている。 (コミュニケーションの継続) 知っている表現を使って書いている。	(正確な筆記) 学んだ表現を用いて文を書くことができる。 (適切な筆記) つながりを考えた文章を書くことができる。		(言語についての知識) be 動詞と一般動詞を使い分け、場面にふさわしい表現を理解できる。 (文化についての理解) 日本と外国の学校制度や生活の違いが分かる。

3 指導と評価の計画

(網掛けは、小学校英語活動を生かした活動・指導)

時間	ねらい( )と 学習活動( )	指導上の留意点及び支援の工夫 「おおむね満足」に達していない生徒 への手だて	単元の 評価規 準との 関連	具体的評価規準 A「十分満足」 B「おおむね満足」 (評価方法)
1	<p>英語学習への意欲をもつ。</p> <p>① When I grow up を歌う。 テレビ会議に関心を持ち、Part1 の内容を理解する。</p> <p>② 教師の紹介する人物のビデオを見て、内容を理解する。</p> <p>③ さし絵を見ながら Part1 の内容を聞き取り、分かったことをメモする。</p> <p>④ Part1 の新出単語を練習する。</p> <p>⑤ 本文の音読練習をする。</p> <p>⑥ Q and A で内容を確認する。</p> <p>Who~?を用いて質問したり、答えたりすることができる。</p> <p>⑦ Who am I?クイズを考え書く。</p> <p>⑧ Who are you?を用いて質問し、クイズに答える。</p>	<p>歌うことで職業名を復習できるようにする。</p> <p>テレビ会議のかわりにビデオレターという場面を設定し、興味をもって取り組めるようにする。 ALT がオーストラリアに住む歌手になりきることで、場面を理解できるようにする。 録画しておいた自己紹介ビデオを見ながら、分かったことをメモするよう指示する。 聞き取った単語をメモするよう促し、内容を確認できるようにする。 ビデオの表現との違いに気付けるように促す。</p> <p>silent gh の説明をする。</p> <p>繰り返し練習ができるように Read and Look up など様々な読み方を行うようにする。 読めない単語を個々に指導する。 答えを英語で書くことで内容を確認できるようにする。 答えがキーワードのみ空欄のワークシートを使用することで書くことに取り組めるようにする。</p> <p>3 ヒントクイズで問題を考えるよう指示する。 参考として例題を示すことで活動に取り組めるようにする。 表現の定着を図るために、ヒントを1つ読むたび Who am I?と尋ねるよう指示する。</p>	<p>アイウエ</p>	<p>グリーン先生の授業の会話を理解し、正しく音読している。</p> <p>A 会話の内容を正しく理解し、短縮形やイントネーションを正しく読んでいる。</p> <p>B テレビ会議の内容が分かり、モデルに近付こうと読んでいる。 (観察、メモシート)</p> <p>Who~?を用いてクイズを出したり答えたりできる。</p> <p>A 積極的に活動に取り組み正しい表現で出題したり答えたりできる。</p> <p>B Who am I?クイズを出題することができる。 (ワークシート、観察)</p>
	<p>英語学習への意欲をもつ。</p> <p>⑨ When I grow up を歌う。 時差や天候の違いに関心を持ち、Part2 の内容を理解する。</p> <p>⑩ 教師の電話でのやり取</p>	<p>want to be の音変化を理解できるようにする。</p> <p>国際電話という設定で ALT と天</p>		

<p>りを聞き、内容を理解する。</p> <p>11 さし絵を見ながら Part2 の内容を聞き取り、メモをとる。</p> <p>12 Part2 の新出単語を練習する。</p> <p>2 13 本文の音読練習をする。</p> <p>14 Q and A で内容を確認する。</p> <p>時刻や天気について尋ねたり答えたりすることができる。</p> <p>15 世界地図に各国の天気や時刻を質問し、書く。</p> <p>16 調べた結果を発表し、世界の場所や時差について理解する。</p>	<p>候や時間のやりとりを前時と同様歌手になりきった続きで行い、本文の内容に興味をもてるようにする。</p> <p>時差や天候の違いを聞き取りのポイントとして示すようにする。</p> <p>キーとなる単語に注意して聞くように助言する。</p> <p>聞き取りのポイントを示したワークシートを利用するよう促す。</p> <p>音と文字を結び付けることができるようにフォニックスを取り入れた音声指導を行う。</p> <p>グループになりテレビ会議を意識して練習するよう促す。</p> <p>読めない単語を個々に指導する。</p> <p>答えを英語で書くことで、内容を確認できるようにする。</p> <p>答えがキーワードのみ空欄のワークシートを使用することで書くことに取り組みめるようにする。</p> <p>一つの国のみの時刻と天気の記入してあるシートを配り、他の国について質問することで、表現の定着を図れるようにする。</p> <p>時刻と天気の尋ね方を確認して活動に取り組みめるようにする。</p> <p>世界地図で国や、都市名を確認してから時差について説明するようになる。</p>	<p>アイウエ</p> <p>アイウエ</p>	<p>テレビ会議の内容を理解し、正しく音読している。</p> <p>A 会議の内容を正しく理解し、文の強勢や語の連結を正しく読んでいる。</p> <p>B 時差について理解し、モデルに近付こうと読んでいる。</p> <p>(観察、メモシート)</p> <p>What time~?How's~?を用いて尋ねたり答えたりすることができる。</p> <p>A 正しい表現で会話を行い、時差を理解している。</p> <p>B 適切な表現で質問したり答えたりすることができる。</p> <p>(ゲームシート、発表)</p>
<p>英語学習への意欲をもつ。</p> <p>17 When I grow up を歌う。</p> <p>外国の学校生活に関心をもち、Part3 の内容を聞き取る。</p> <p>18 ALT の中学校の様子を聞き、自分たちとの違いを知り、さらに知りたいことを質問する。</p> <p>19 Part3 の内容をメモを取りながら聞き取り、ALT や自分たちとの違いを知る。</p> <p>20 Part3 の新出単語を練習する。</p> <p>3 21 本文の音読練習をする。</p> <p>22 Q and A で内容を確認</p>	<p>歌詞の内容を理解できるように when I grow up の表現を簡単に説明するようにする。</p> <p>説明には既習表現の他、小学校英語活動で用いた表現を使用し内容を理解できるようにする。</p> <p>ワークシートに理解したことを書き込むように促す。</p> <p>それぞれの国が比較できるようなワークシートを配布し内容を理解できるようにする。</p> <p>聞き取りのコツを示したプリントを利用できるようにする。</p> <p>音と文字を結び付けることができるようにフォニックスを取り入れた音声指導を行う。</p> <p>ペアになり、様々な読み方で繰り返し練習するよう促す。</p> <p>読めない単語を個々に指導する。</p> <p>答えを英語で書くことで内容を確認できるようにする。</p>	<p>アイウエ</p>	<p>慎とピルの会話を理解し、正しく音読している。</p> <p>A 会話の内容を正しく理解し、正しい抑揚で読んでいる。</p> <p>B カナダの中学校について理解し、モデルに近付こうと読んでいる。</p> <p>(観察、ワークシート)</p>

	<p>する。</p> <p>外国の学校生活について知る。</p> <p>23 外国の学校生活について読み、質問したり伝えたりする。</p> <p>24 理解した学校生活について説明する文を書く。</p>	<p>答えがキーワードのみ空欄のワークシートを使用することで、書くことに取り組めるようにする。</p> <p>質問して相手の情報を得ることができるようにペアで違う国の情報を与える。</p> <p>質問文のパターンを示し、活動を助けるようにする。</p> <p>教科書の本文を参考にしよう促す。</p> <p>机間指導し、適切な表現についてアドバイスをする。</p>	<p>ア イ ウ エ</p>	<p>学校生活について読んだり話したり書いたりできる。</p> <p>A 学校生活について積極的に質問したり答えたりし、適切な表現で書いている。</p> <p>B 外国の学校生活について質問し理解している。</p> <p>(観察、ワークシート、発表)</p>
<p>4</p>	<p>英語学習への意欲をもつ。</p> <p>25 When I grow up を歌う。</p> <p>外国のスポーツに関心をもち、Part4 の内容を聞き取る。</p> <p>26 ALT の国のスポーツについて聞き、さらに知りたいことを質問する。</p> <p>27 Part4 の内容をメモを取りながら聞き取り、ラクロスについて知る。</p> <p>28 Part4 の新出単語を練習する。</p> <p>29 本文の音読練習をする。</p> <p>30 Q and A で内容を確認する。</p> <p>ドリームキャッチャーについて知る。</p> <p>31 ドリームキャッチャーの話やラクロスについての説明を読む。</p>	<p>職業名を換えて歌うことで様々な表現に触れることができるようにする。</p> <p>既習表現の他、小学校英語活動で用いた表現を使用し説明することで内容を理解できるようにする。</p> <p>ワークシートに理解したことを書き込むことで質問の内容を考えることができるようにする。</p> <p>スポーツについて比較できるようにワークシートを活用するように伝える。</p> <p>聞き取りのコツを示したプリントを活用できるようにする。</p> <p>音と文字を結び付けられるようにフォニックスを取り入れた音声指導を行う。</p> <p>繰り返し練習することができるように、ペアになり様々な読み方をする。</p> <p>読めない単語を個々に指導する。</p> <p>答えを英語で書くことで内容を確認できるようにする。</p> <p>ドリームキャッチャーについて説明するために P114 の英文を用いるようにする。</p> <p>机間指導し理解を助けるようにする。</p> <p>読むことに積極的に取り組めるように、ラクロスについて説明する文も用意し読みに取り組めるよう促す。</p>	<p>ア イ ウ エ    ア イ エ</p>	<p>絵美とビルのお話を理解し、正しく音読している。</p> <p>A 二人のお話を正しく理解し、文の強勢など正しく音読している。</p> <p>B 会話の大体の内容を理解し、モデルに近づこうと読んでいる。</p> <p>(観察、ワークシート)</p> <p>説明文を読み、カナダのスポーツについて知ることができる。</p> <p>A 積極的に説明文を読み、カナダのスポーツについて理解している。</p> <p>B カナダのスポーツについて知っている。</p> <p>(観察、発表)</p>
	<p>英語学習への意欲をもつ。</p> <p>32 When I grow up を歌う。</p>	<p>興味をもって歌えるように、I を友達の名前に換え、職業名も換える。</p>		

5	<p>自分たちの学校生活について伝える。</p> <p>33 自分たちの学校生活紹介を考え、書く。</p> <p>34 自分たちの学校紹介を行う。</p>	<p>表現の定着を図るために2の人物に自分の学校を紹介するという設定で活動できるようにする。</p> <p>グループで協力して取り混ぜ様々な表現を教え合いながら書けるようにする。</p> <p>学校制度、学校生活、部活動などについて書くよう伝える。</p> <p>例文をプリントで配り書くことに取り組めるようにする。</p> <p>テレビ電話という設定でALTに向け紹介することで具体的な場面を意識して活動できるようにする。</p>	アイエ	<p>外国と自分たちの学校生活の違いを理解し、伝えることができる。</p> <p>A 日本と外国の制度や生活の違いを理解し、分かりやすく伝えることができる。</p> <p>B 自分たちの学校について話すことができる。</p> <p>(ワークシート、発表)</p>
---	---	--	-----	---

小学校英語活動を生かした指導に関わる 4 時間分

英語科学習指導案(Unit 7) 第 1 時 1/5

本時における小学校英語活動を生かした指導

本時の話題は、テレビ会議である。実際、外国の中学生とテレビ会議で対話できる環境が整っているとよいのだが、本題材と少しでも似た経験をさせ、活動に積極的に取り組めるようにするために、ビデオを使用したい。小学校英語活動のごっこ遊びを取り入れ、ALT がある人物になりきり、ビデオに登場し、ビルのように自己紹介を行う。テレビ会議のように直接話しはできないが、映像を見ながら英語を聞くことは、本文に関心をもつための有効な導入の方法であると考えられる。テレビ電話を使ってある人物になりきって自己紹介することで、生徒は興味をもって活動に取り組めるであろう。本時の言語材料の Who は、小学校英語活動において Who is he? クイズなどで使用されている表現であるが、生徒同士のやり取りの中で使用されることは少ないようである。Who? と単語のみで使用してきた生徒が多いと考えられる。疑問詞 Who を文の形で使えるようにするため、何度も音声で発話することで、表現の定着を図りたい。

1 本時の目標

- ・ 人について、だれであるのか尋ねたり、それに答えたりすることができる。
- ・ Who~?の文と応答の形・意味・用法を理解し、表現できる。
- ・ Part 1 の内容を理解する。

2 準備

- ・ CD、ピクチャーカード、フラッシュカード、ワークシート、メモシート、ビデオ

3 展開

時間	ねらい	学習活動	支援及び留意点	評価
5	英語学習への意欲をもつ。	英語であいさつをする。 When I grow up の歌を歌う。	前時までの言語材料を使い質問することで、表現の定着を図れるようにする。 歌うことで職業名を復習できるようにする。	
10	テレビ会議に関心を持ち、Part1の内容を理解する。	ビデオを見て、話の内容を理解し、聞き取ったことをメモする。  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">                     JTE: Hello, everyone. Let's watch the video from Bill.                      Do you know who he is? Who is he? He is my friend.                      ALT: Hi, I'm Bill ( ). I live in Australia. I'm ( ) years old.                      I'm a singer. (JET) and I are good friends. I like Japan. など                 </div> メモした内容を確認する。	興味をもって取り組めるように、ALT はオーストラリアに住む歌手で教師と友達という設定でビデオを作成するようにする。 グリーン先生が弟を紹介するという本文と似たような導入で ALT が紹介を行うことで、場面を理解できるようにする。	
15	さし絵を見ながら、Part1の内容を聞き取り、分かったことをメモする。 Part1 の新出単語を練習する。 night, right 本文の音読練習をする。  本文についての質問に答える。	内容を理解できるように ALT のビデオの内容と対比してメモできるようなワークシートを準備する。 high の発音しない gh について小学校英語活動で慣れ親しんだ語を用いて説明する。  暗唱できるように Read and Look up や役割練習などで繰り返し練習をする。 Q and A の答えを英文で記入することで内容を確認できるようにする。	本文を理解し、イントネーションに気を付けて読んでいる。	
20	Who~?を用いて質問したり、答えたりすることができる。	Who am I?クイズを考えて書く。 Who are you?を用いて質問をし、クイズに答える。  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">                     S1: Who are you? S2: I live in America. Who am I?                      S1: One more hint, please. S2: I am a Japanese. Who am I?                      S1: I don't know. One more hint, please.                      S2: I am a baseball player of the Yankees. Who am I?                      S1: You are Mr. Matsui. Right? S2: Yes, that's right.                 </div>	小学校英語活動を思い出し、3 ヒントクイズを考えるよう指示する。 表現の定着を図るために質問されたらヒントを一つずつ読み上げ、Who am I?で答えを求めようとする。	クイズを出題することができる。

本時における小学校英語活動を生かした指導

本時の話題は、テレビ会議での日本とカナダの時刻と天気の違いである。前時と同様、本時でも小学校英語活動のごっこ遊びを取り入れ、テレビ電話でオーストラリアの ALT と会話をするという場面を設定し、本文への関心を高めたい。定着させたい言語材料は What time ~? である。小学校英語活動において、時刻や自分の一日の生活を表現する活動を行っているので、時刻を尋ねるときに What time? を使うことを理解している生徒は多いと考える。しかし、主語と動詞のある文として時刻を尋ねることが定着している生徒は少ないと思われるので、What time ~? の文の形を音声でたくさん聞き、慣れ親しんだ後で、クイズの中で楽しみながら使うことによって、言語材料の定着を図れるようにしたい。

1 本時の目標

- ・ 世界各地の時差を知り、現在の時刻や天気について尋ねたり、それに答えることができる。
- ・ What time ~? の文と応答の形・意味・用法を理解し、表現できる。
- ・ Part 2 の内容を理解する。

2 準備

- ・ CD、ピクチャーカード、フラッシュカード、メモシート、電話、ゲームシート

3 展開

時間	ねらい	学習活動	支援及び留意点	評価
5	英語学習への意欲をもつ。	英語であいさつする。  When I grow up を歌う。	前時までの言語材料を使い質問することで、定着を図れるようにする。 want to be の音変化を理解できるようにする。	
5	時差や天候の違いに関心をもち、Part 2 の内容を理解する。	電話でのやり取りを聞き、内容を理解する。 聞き取ったことを確認する。	興味をもって取り組めるように電話を使い、オーストラリアにいる ALT と国際電話をするという設定で活動を行う。 現実に近い状態で会話を行えるようにオーストラリアの実際の時刻や天候を調べる。 天候や時刻は小学校英語活動で用いられた表現を思い出し、内容を推測できるようにする。  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">                     What time is it ? It's five o'clock.                      What time do you get up ? Six ten.                      How is the weather ? It's sunny. など                 </div>	
20		さし絵を見ながら Part2 の内容を聞き取り、メモをとる。  Part2 の新出単語を練習し、u の読み取りと書き取りの練習をする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">                     jungle, brush                      pumpkin, duck                 </div> 本文の音読練習をする。  本文についての質問に答える。	日本とカナダの時刻と天気の違いを、聞き取りのポイントとして示すようにする。 時差について説明し内容を理解できるようにする。 意味とつづり、読み方を定着できるように、フラッシュカードを用いる。 sunny の u の発音指導と書き取り練習を小学校英語活動で触れた単語を使いフォニックスで指導し、音と文字を結び付けられるようにする。 テレビ会議を意識して練習することで、実際の言語の使用場面を理解できるようにする。 Q and A の答えを英文で書くことで、内容を確認できるようにする。	会議の内容を理解し、文の強勢に気を付けて読んでいる。
20	時刻や天気について尋ねたり、答えたりできる。	世界各国の天気や時刻を質問し、シートに書き込む。  世界の時差や都市名について確認する。	たくさんの友達と対話することができるように、色分けした数種類のシート(時刻と天気が記入してある都市が違うもの)を準備する。 都市名を世界地図で確認することで、時差についても理解できるようにする。	時刻や天気を尋ねることができる。

本時における小学校英語活動を生かした指導

本時の話題はカナダの中学校生活についてである。新出の基本本文は特になく、学校生活について尋ねたり、それに答えたりすることができるようになるのが本時の目標である。そこで、既習表現を使用した言語活動を行い、表現の定着を図っていききたい。本時の話題に関連し、カナダ以外の外国の学校紹介を行うようにしたい。その際、既習表現だけでなく、小学校英語活動で使用した表現を使うことで、さまざまなことを表現できるようになると考える。生徒にとって難しいと思われる表現は、図を使うなど提示の仕方を工夫したり、推測することにより、理解できるようにしたい。本文理解の後、外国の学校生活について質問し合う活動に、読む活動と書く活動を取り入れることで、「聞く」「話す」「読む」「書く」活動のバランスのとれた指導を行っていききたい。

1 本時の目標

- ・ 学校生活について尋ねたり、それに答えたりすることができる。
- ・ Part 3 の内容を理解し、カナダの中学校生活について知る。

2 準備

- ・ CD、ピクチャーカード、フラッシュカード、ワークシート

3 展開

時間	ねらい	学習活動	支援及び留意点	評価
5	英語学習への意欲をもつ。	英語であいさつする。 When I grow up を歌う。	前時までの言語材料を使い質問することで、表現の定着を図れるようにする。 歌詞を理解できるように、接続詞 when の表現を説明する。	
8	外国の学校生活に関心をもち、Part3の内容を聞き取る。	ALT の中学校生活について聞き、分かったことをワークシートに記入する。 さらに知りたいことを質問する。  When do you play with your friends? Where do you go on weekends? What club do you belong to? など	内容を理解できるように、中学校での既習表現の他、小学校英語活動で音として触れている表現も使うようにする。 様々なことを質問できるように、小学校英語活動で音声として触れている表現も使用してよいことを伝える。	
17		Part3の内容を聞き取り、ワークシートにALTや自分たちとの違いを書く。 Part3の新出単語を練習し、qの読み取りと書き取りの練習をする。 queen, quiz, squid, quiet  本文の音読練習をする。 本文についての質問に答える。	カナダの中学、ALTの中学、自分の学校が比較できるようにワークシートを工夫するようにする。 意味とつづり、読み方を定着できるように、フラッシュカードを用いる。 quicklyのqの発音指導と書き取り練習を小学校英語活動で触れた単語を使いフォニックスで指導し、音と文字を結び付けられるようにする。 ペアで何度も練習するよう促す。 Q and Aの答えを英語で記入することで内容を確認できるようにする。	本文を理解し、抑揚に気を付けて読んでいく。
20	外国の学校生活について知る。	外国の学校生活について読み、相手に伝えたり、相手の学校について質問する。  <Australia> We go to the secondary school from 7 years old to 15 years old. We have four classes in the morning and two in the afternoon. The class is forty minutes long. We don't clean the classroom after school. We eat lunch on the ground. など  質問して理解した内容を説明する文を書く。	ペアで違う国の学校生活の説明文を与え、既習表現を使って質問し、相手の国の情報を得るように指示する。  書く活動に取り組めるように、自分の読んだ説明文や教科書の本文を参考にしよう伝える。	外国の学校生活について質問し、理解している。



本時における小学校英語活動を生かした指導

前時に続いて本時の話題もカナダの中学校生活についてである。放課後行われているラクロスというスポーツとドリームキャッチャーについて取り上げられている。新出の基本文は特にないので、前時同様、既習表現や小学校英語活動で使用した表現を使い、外国のスポーツについて聞いたり、相手に尋ねたりする活動を行い、活動の中で使用された表現の定着を図っていきたい。本文理解の後、教科書の資料編にあるドリームキャッチャーの伝説の話を使用し、まとまった文を読む活動を行い、長文を読むことに興味・関心をもてるようにしたい。

1 本時の目標

- ・ 学校生活について尋ねたり、それに答えたりすることができる。
- ・ Part 4 の内容を理解し、ドリームキャッチャーについて知る。

2 準備

- ・ CD、ピクチャーカード、フラッシュカード、ワークシート

3 展開

時間	ねらい	学習活動	支援及び留意点	評価
5	英語学習への意欲をもつ。	英語であいさつする。 When I grow up を歌う。	前時までの言語材料を使い質問することで表現の定着を図れるようにする。 職業名の部分を換えて歌うことで様々な表現に触れることができるようにする。	
8	外国のスポーツに関心をもち、Part4の内容を聞き取る。	ALT の国で盛んなスポーツについて聞き、分かったことをワークシートに記入する。 hit a ball, throw a ball, catch a ball batter, fielder, jump It's easy (too hard). など さらに知りたいことを質問する。 Can you play it well? How do you play? What sport do you like? など	内容を理解できるように、中学校での既習表現の他、小学校英語活動で音として触れている表現も使うようにする。 様々な質問をすることができるように小学校英語活動で音声として触れている表現も使用してよいことを伝える。	
17		Part4の内容を聞き取り、ワークシートに分かったことを書く。 Part4の新出単語を練習し、ckの読み取りと書き取りの練習をする。 pick, chick, socks, jacket 本文の音読練習をする。 本文についての質問に答える。	ALTの国のスポーツ、ラクロスが比較できるようにするためワークシートを工夫する。 意味とつづり、読み方を定着できるように、フラッシュカードを用いる。 stickのckの発音指導と書き取り練習を小学校英語活動で触れた単語を使いフォニックスで指導し、音と文字を結び付けられるようにする。 ペアで何度も練習するよう促す。 Q and Aの答えを英語で記入することで内容を確認することができるようにする。。	本文を理解し、文の強勢に気を付けて読んでいる。
20	ドリームキャッチャーについて知る。	ドリームキャッチャーの話を読み、内容を理解する。 理解した内容を確認する。	本文の話題を広げるために教科書資料編P114のFurther Readingを使用するようにする。 資料編が読み終えた生徒に挑戦させるために、ラクロスについての説明文も用意しておくようにする。 ドリームキャッチャーの要約文を穴埋めしたワークシートを作成し、理解したことをまとめられるようにする。	ドリームキャッチャーについて分かる。